

精神干渉(マインドコントロール ; *Mind Control*)

対象者の精神(思考、意思、感情等)に干渉し、捻じ曲げることができる[超能力](#)。(一般的に言う技術としてのマインドコントロールとは異なり、あくまでSF的な能力)

「マインドコントロール」の直訳は「精神(mind)を支配する(control)」であり、狭義には対象者の意識を完全に乗っ取り、マリオネットのように意のままに操ることができる能力を指す。ただし、[リゾスレ](#)においてはもう少し広義に用いられているため、より広い意味合いで「精神干渉」の名を冠している。

使用者(能力保持者)

・ [新垣里沙](#)

初出は[Niigaki\]\(01\)780 『関空発 羽田 ボーイング機内』](#)

- ・ 作者・作品によって最も解釈の幅が広い能力の保持者と言える。先述のように「対象者を意のままに操る能力」として描かれる作品をはじめ、以下のような様々なバリエーションが存在する。

- ・ 相手の脳に自身の意識を侵入させることで、対象者の意志を誘導することができる。
- ・ 同様にして、記憶を消去・改竄することができる。
- ・ 同様にして、現実のようにリアルな幻覚を見せることができる。
- ・ 人間以外の生物の意思をも感じ取ることができる。
- ・ 無機物に自分の意識の一部をもぐりこませることで自在に操ることができる。……等

- ・ 同時に干渉することのできる人数や、その射程距離は不明。(作者・作品によって異なる)
- ・ 対象者の精神に干渉中は自身の体が無防備になる、能力行使の後は深い眠りに誘われるなどの制限が見られる作品もある。
- ・ 物理的ダメージを与える能力ではないものの、使い方次第で一対一にも多対一にも対応できる能力と言える。

・ [ダークネスの女](#)(名無し募集中)

登場は[Sayu-Eri\]\(01\)704 『共鳴する心とチカラ』](#)のみ

- ・ 対象者を意のままに操る能力

・ [吉澤ひとみ](#)

「精神干渉」が登場する作品例

- ・ [Niigaki\(03\)295 『さよならリゾナント』](#)
- ・ [Niigaki\(05\)116 『孤独の死闘』](#)
- ・ [Niigaki\(13\)654 『Wingspan 第一章 箱庭の鳥は翼をもがれ』](#) ……等